

# 「第30回まちづくり市民会議」議事要旨

○アドバイザー・事務局含め全41名中、26名参加

## 【議事概要】

### 1. 新規参画委員について

市民との意見交換会に市民として参加した方より慎重派の立場より参画の上意見したい旨希望があり、新規参画委員として紹介した。

### 2. 市民との意見交換会の結果報告について

出された意見については、素案の作成に向け、基本的には次回以降の各部会での議論に活用し、その中でも①条例の位置付け（最高規範性）②用語の定義（市民の定義）③住民投票④都市内分権については、意見交換会や議会との意見交換会においても主要な論点となったことから市民会議全委員で議論することが適当である旨説明した。

#### 【意見交換会を通じた委員各位の主な感想】

- ・参加者数や参加された方々の反応を踏まえると、市民の理解を得られたり意見を十分に頂いたとは言えないのでは。フォーラムの開催等、市民への理解促進を図るべく取り組むべき。
- ・参加者に区長や民生委員が多く偏りがあり、広く市民の意見を聴けていない。もっと時間をかけていく必要がある。
- ・市民会議として何を伝えたいかがぼやけており、結果的に参加された方々に十分に市民会議の取組や考え方をうまく伝えられなかった。
- ・説明の仕方に問題があった。
- ・いつまでも会議を続けるわけにはいかない。どこまでやるか線引きをしていく必要がある。

### (3) 市民会議の今後の進め方について

各部会に別れ（第4部会は人数が少ないため他部会に入り）議論・発表し、今後の進め方を確認した。⇒結論に至らなかったため、次回改めて議論とした。

#### ○第1部会

- ・意見交換会のやり方を再考し、多くの市民の意見を踏まえるよう努めるべき。

#### ○第2部会

- ・具体的にいつまでといった期限を明示できないが、際限なく続けるわけにはいかない。ただ、議論には時間をかけるべき。
- ・部会毎に素案作成に向け議論をはじめ、疑問点が生じたら部会毎に意見交換会（各種団体向け等）を行い疑問を解消していくスタイルでいいのでは。

#### ○第3部会

- ・年度内に活動を終わるべき（素案を完成し市長へ提出）。
- ・今回の意見交換会で出された意見を踏まえ、部会毎に素案作成の議論に入るべき。

⇒上記各部会からの発表を踏まえ「今後の進め方をどう決めていくか」についての  
議長まとめ

- |  |
|--|
| <p>①委員各位に改めて今後の進め方についてアンケート形式で意見を求め事務局と<br/>りまとめ</p> <p>②①を受け、部会長会議を開催し今後の進め方（案）を決定<br/>※基本的に部会長会議に意思決定を委ねる</p> <p>③次回全体会議で今後の進め方を決定</p> |
|--|

以上